

人と自然と文化にやさしい地域づくり

山口県教育

Education of the Yamaguchi prefecture

1

明日を拓く—成果を検証する—

令和3年 No.1307



■年頭所感

■コロナ禍 今 大人ができること…

山口県公認心理師協会産業・組織領域理事
山口県スクールカウンセラー

臨床心理士・公認心理師 杉浦 崇仁

■新たな一步を踏み出す

山口県立大津緑洋高等学校（水産校舎）
山口県桜ヶ丘高等学校
山口県立西京高等学校
高川学園高等学校
萩市立佐々並小学校
周東文化協会

3年 山口 律太
3年 藤本 濃音
3年 三浦 心音
3年 大内 海斗
校長 舟木 美弘
会長 中部 康典

■残そうまちの自慢 ■玖西支部の取組 ■地域活性化活動助成事業

下関市立山の田小学校
教職員相談室相談員

校長 竹中 謙二
大本 学司（一般相談担当）
溝部 幸絵（結婚相談担当）

■ご案内

一般財団法人 山口県教育会

〒753-0072 山口市大手町2-18 TEL 083-922-0383 FAX 083-922-5768

URL <http://www.ykyoikuk.or.jp> E-mail ykyoikuk@ruby.ocn.ne.jp

明治36年4月第1号 每月1日発行 発行人 会長：倉増誠彦／編集長：西岡 尚

木本 信昭

令和元年度 第72回山口県学校美術展 推奨作品

「中山神社」

下関市立垢田中学校 1年生（受賞時） 渡辺 麻優子

あなたの
アクションは…

山口県教育会がすすめる
「元気やまぐち」三つのアクション

- ◎あいさつ 返事で明るいやまぐち
- ◎笑顔でつなぐ 安心やまぐち
- ◎手書きのない美しいやまぐち

「ウイズコロナ時代」に想う



木本信昭



令和2年5月出版

はじめに

新型コロナウイルスの感染爆発の恐怖に振り回され、世界中が混乱することを、東京オリンピックを楽しみにしていた昨年の正月、誰が予測したでしょうか？喘息や糖尿病などの基礎疾患、さらに難病治療のための入院生活により体力と免疫力が極度に低下していったわたしには、歩行が困難な難病の老妻の介護（パンツの上げ下げ）中心の巢籠の日々が続きます。しかし巢籠を逆手に入院中、孫たちの世代への「遺言」のつもりで書き溜めていた「仏教隨想『歎異抄』にきく」を推敲し、出版にこぎつけることができました。

感染症の歴史

さて、最初に思い浮かぶ感染症による世界規模のパンデミックは、14世紀のヨーロッパで流行したペスト。これが新大陸・アメリカに天然痘ウイルスがもち込まれたことで、免疫力のなかつた先住民の人口が激減、マヤ文明やインカ帝国などが滅亡したことです。近代以降では第一次世界大戦中に感染が広がったスペイン風邪（インフルエンザ）です。スペイン風邪は、「軍隊」という「三密（密閉・密集・密接）」の場で拡散し、5億人が感染、1700万人以上が死亡します。ウイルスの感染拡散を恐れて養豚場や養鶏場で行われる大量殺戮は、人間の知恵・「三密」による飼育がもたらした悲劇です。エイズやポリオ（小児麻痺）の明病」です。

コロナで病んでいるのか？

人類の歴史は感染症との闘いでした。SARSやM

EERSの経験知で備えができていた台湾や韓国と違い、日本政府の場当たり的、泥縄式対策は目に見えない壁

をつくる封じ込め作戦「自肃（ステイ・ホーム）」でした。場当たり的対策の例が、突然全国一律に発出された一斉休校による教育現場の混乱やアベノマスクの配布です。自肃生活で心を病む人々が激増します。温かい「ホーム」と錯覚していた家庭が、実は箱物（ハウス）に過ぎなかつたのです。

病院や福祉施設では、高齢の親との面会が叶わず、肉親の葬儀にも参列できぬ悲劇がおこります。

自肃の強制が正義のような風潮のなかで、コロナへ感染する恐れより、社会的制裁や風評被害を恐れ、マスクや他県ナンバーの車を監視する「自肃警察」まで出現します。学校現場における罹患者とその家族への偏見や差別も見逃せません。

医療従事者などの懸命な努力で、欧米のような感染爆発によるパンデミックやロックダウンは回避され、ウイルスの正体と対処法も明らかになります。マスメディアの論調も「コロナとの闘い」から「ウイズコロナ」へと変化しました。しかし政府は封じ込め作戦で疲弊した経済を立て直すため、今度は真逆の「Go To！」

をはじめ「経済優先の政策」に舵を切ります。そのため患者数は徐々に増加傾向に転じ、持続化給付金や「Go To...」でも、火事場泥棒のような詐欺行為まで横行しています。

光は闇のなかに

異常気象による自然災害の激増は、地球の支配者のごとく振る舞う傲慢な人間の環境破壊によります。野

生動物による農作物の被害も同じことです。熊など野生動物の被害を防ぐため田畠を電柵で囲い、果実の木を伐るのではなく、團栗などの木の実や落葉樹を山に植え彼らを自然の懷に帰しましょう。

学校教育でも「人間と自然との関係性の中」で、コロナ問題を考え直しましょう。特定の野生動物を宿主として生き継いできたウイルスが、環境破壊により新しい宿主としてヒトを選んだのです。

新大陸にもち込まれた天然痘もコロナ騒動も、一種の「文明病」です。科学技術の進展が人々を幸せにしてしまったでしようか？ 地球温暖化による異常気象、ヒト・モノの移動のグローバル化による新型コロナウイルスでの世界的パンデミックや核兵器の脅威を考えれば明らかです。文明のあり方を子どもたちに問いかける教師自身の哲学が問われているのです。

トランプ大統領に代表される自國第一主義による分断と絶対が世界中で進み、今後も開発されるワクチンの問い合わせなどで一段と格差は広がり、経済恐慌する想定されます。

国際社会を分断から協調へ再構築し、地球環境を護るために叡智を結集しなければ人類は滅びます。体験学習を通して人間関係を学ぶ「魂」の教育は、デジタル化やオンライン学習では不可能です。教育技術ではありません。教師の生き方、哲学が問われているのです。

光は闇のなかにあります。人々の叡智で東京オリンピックも、実現の可能性が出てきました。親鸞は、「宇宙の摂理（自然）に身をまかせる『自然法爾』」を説きます。自然を征服する西洋思想から、自然とともに生きる東洋思想に立ち返ることこそが、「ウイズコロナ」の生き方です。この原稿を書きながら、今わたしは「絶望のなかにも希望のかけらがある」という先人の言葉をかみしめています。

（令和2年11月下旬執筆）

略歴

昭和13年下関市生まれ。山口市在住。

中学校の美術教諭、後に山口県立美術館、下関市立美術館の設立と運営に従事。停年退職後、東邦大学大学院博士課程に学び、佐賀県有田町の教育長を務める。

昨年5月、随筆「仏教隨想『歎異抄』にきく」を出版

コロナ禍の中で良好な人間関係を築く



山口県公認心理師協会産業・組織領域理事
山口県スクールカウンセラー
臨床心理士・公認心理師 杉浦 崇仁

新型コロナウイルス（以下、コロナウイルス）によつて大人も子どもも様々な制限の中での生活を強いられることになりました。生活環境が大きく変わる中、子どもたちにとつても様々な変化がありました。夏休みが従来よりも短くなり、長い2学期を過ごすことになり、学校行事も制限されたりと、普段通りの学校生活が送れない状況です。そのような中でも子どもたちはとてもよく頑張っていると思います。また、子どもたちを支えておられる先生方のご尽力にも頭が下がる思いです。そんな色々な対応を求められる大変な状況下に、私が日々の学校臨床場面で感じていることを述べさせていただきたいと思います。

昨年度から始まつた思春期グローリングハートプロジェクトによりスクールカウンセラーが先生方のご協力の基、心理教育を行うことで普段の子どもたちの様子を知る機会が増えました。実際に子どもたちと接した際に感じることは、前述しましたが子どもたちはとても頑張つてゐるということです。頑張つている子どもたちは、自分の気づかぬうちに自分の力以上のことをしていることもあります。子どもは大人に比べて心理的に負担と感じても認識度が低く、対処方法も限られてきます。一言で「ストレス」と表現することもできますが、その「ストレス」は目には見えにくく、他人には分かりづらいものです。自分で気づくしかないのです。甘えがひどい、元気がない、悲しくなる、おねしょをしてしまう、イララする、怒りっぽくな

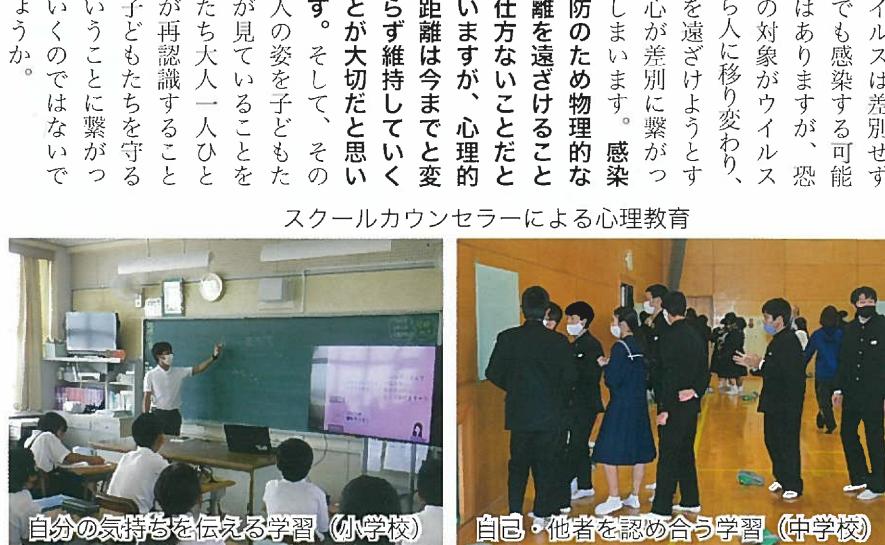
る、眼れない等の心理的、行動的反応はコロナ禍のストレスが原因である可能性があります。しかし、それがついていないストレスについてもしっかりと周りの大人が気づき、対処していくことが必要になつてきます。子どものストレスの軽減には、大人の愛情と注目が必要です。多くの場合は、時間の経過と共に今まで以上に大人が愛情をもつて接してあげることによってストレスは緩和するので、ぜひ子どもたちに労いの言葉をかけていただきたいと思います。ストレスについては、私たち大人も同じことが言えると思います。様々な制限の中で職務に追われ、自分では気づかないストレスを溜め、イライラしてしまってすることも少なくないと思います。職場の中でお互いを労うこと、そして自分自身を労うことも大切だと思います。

次に、コロナ禍での人間関係において大切なことを2つ述べさせていただきます。

一つ目は、コロナウイルスによつて生活自体がブレやすくなつてしまふ中で、成果に捕らわれすぎて結果を見ていないということではないでしょうか。ここで言ふことは仕方ないことだと思いますが、心理的な距離を遠ざけることなどが大切だと思われます。そして、その大人の姿を子どもたちが見ていることを私は今までと変わらず維持していくことが大切だと思いますが、心理的な距離は今までと変わらないことだと思いますが、心理的な評価を気にしそぎて自分がブレたり、視野が狭くなつたりしてしまい、結果として悩みに繋がつてしまふことが多いのではないかと思います。自分がブレないためには、自分が何を考え

思つてゐるかについて素直に内省することが必要だと思います。

二つ目は科学的根拠に基づいた正しい情報を大人が手に入れて子どもたちに伝えていく必要性です。今、学校ではコロナウイルス感染者に対して心無い言葉をかけてしまつたり、嫌がらせ行為をしてしまつたりする「コロナいじめ」が注目されています。「コロナいじめ」を防ぐためには、大人が人の噂やデマに耳を貸さずに正しい情報を子どもたちに伝えることが不可欠だと思います。



スクールカウンセラーによる心理教育

新たな一歩を踏み出す



高校生活を振り返って

山口県立大津緑洋高等学校（水産校舎）

3年 山口 律太

私は幼少の頃から船に興味があり、

将来は大きな船に乗りたいと思っていました。

高校へ入学してからは、意識して

学校前に浮かぶ多くの船を見るよう

になり、将来は大型船の船長になり、

ここに船を浮かべてみたいと強く思

うようになりました。55日間の海友

丸による実習では授業で学んだ事を

生かすことができました。また、実

習では授業で学んだ事を

入港や沖停泊の仕方など、授業で学

ぶ事以上の経験をすることができま

した。本物の船でしかできない体験

をした事は今もしつかり覚えています。

また私は、野球部に在籍しました。

1年次から投手として出場しました。

プレッシャーもありましたが、周り

に支えられて苦しい場面を乗り越え

てきました。2年次では、エースと

して、チームの柱となり責任感を持

ち、試合ではもちろん、練習時にお

いても自分を徹底的に追い込みまし

た。3年次は、最上級生として、悔

いのないよう全ての事に対応して一生

懸命に取り組みました。新型コロナ

の影響で、思うように活動できませ

んでしたが、気持ちだけは負けない

ようにしました。3年間で思うよう

な結果は残せませんでしたが、後悔



2020メモリアルカップ 試合を前にして

のない部活動を送ることができました。

学校生活では、生徒会で副会長、会長を歴任しました。最初は、恥ずかしくて人前で上手に話すことができませんでした。回数を重ねるたびに上手になつていく自分に自信を持つ事ができました。

来年度からは社会人になりますが、部活動で培った責任感と忍耐力、生徒会で身に付けたコミュニケーション能力は幼少時からの夢である船長に向かって頑張れるという自信を与えてくれました。本当に充実した高校3年間です。この学校に入学してよかったです、心から思います。

私は幼少より音楽を本格的にやつてきました。音楽をやっている時の見た目の華やかさとは違い、日常生活では地味で辛く、苦しい事も山程ありました。ただ、どんな時もその音楽が私を救つてくれました。

音楽を通して、たくさんのご縁や繋がりもでき、ある時、「シンガーソングライターとしてCDを出そう!」というお話を頂きました。ただその時は、音楽で生きていく覚悟まではできなくて、「普通に大学に行つて...」と進路を決めていたので、本当に悩み、考えました。しかし、「今度は私が私の音楽で、誰かの支えになりたい」と思い、音楽で生きる決断をしました。そうしてようやくCD発売、イベントなどの日程も決まり、これからという時にコロナウィルス感染症が猛威を振るい、自粛生活を強いられました。全てが白紙のような状況となり、伝える術もない中、CDだけは発売されました。頭が真っ白になりましたが、音楽仲間や先輩のアドバイスもあり、今はSNSで伝えるしかないと思い、それまではやつていなかつたSNSでの発信を急加速させました。これにより気持ちも切り替えることができたと思います。



夢を夢で終わらせない 「コロナ禍で分かつた「諦めない強さ」」

山口県桜ヶ丘高等学校

3年 藤本 淳音



また、私はユニットを組んで、周南市の駅前図書館でボランティアとして毎月コンサートを開いています。

その活動を知った地元の方々が、TVやラジオ出演、CDショップでの販売展開など、たくさんの協力ををして下さり、最近ではイベント出演も復活してきました。まだまだ状況は厳しいですが、卒業するまでにセカンドアルバムの制作、発売など、出来る事を積んで力をつけていきたいと思っています。

一日でも早い収束を祈りつつ、だからこそ出来る事をやって、私なりの音楽を皆さんに届けていこうと思っています。「山口県出身のシンガーソングライター」と胸を張つて言うことが出来るよう頑張ります。是非、応援よろしくお願ひします!

また、私はユニットを組んで、周南市の駅前図書館でボランティアとして毎月コンサートを開いています。

その活動を知った地元の方々が、TVやラジオ出演、CDショップでの販売展開など、たくさんの協力ををして下さり、最近ではイベント出演も復活してきました。まだまだ状況は厳しいですが、卒業するまでにセカンドアルバムの制作、発売など、出来る事を積んで力をつけていきたいと思っています。

一日でも早い収束を祈りつつ、だからこそ出来る事をやって、私なりの音楽を皆さんに届けていこうと思っています。「山口県出身のシンガーソングライター」と胸を張つて言うことが出来るよう頑張ります。是非、応援よろしくお願ひします!



部活ができる喜びを通じて

山口県立西京高等学校
3年 三浦 心音

私たちホッケー部は全国大会出場を目指に日々懸命に練習を重ねてきました。今年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で学校が休校となり約3か月間、チームメイトと一緒に活動することができなくなりました。休校中は今まで鍛えてきた体力・筋力・スキルを保つために各自で毎日トレーニングを行いました。これから先どのようになっていくのか不安でした。先生方に取り組んだ内容はいく中で、仲間と一緒に練習できることはあたりまえではなくとてもあります。

通常、1年に3回ある大会の中でインターハイと国体がなくなり、8月2日に行われたやまぐち高校生2020メモリアルカップが新チームで初めての大会でした。遠征や練習試合もあまりできない状況だったため、試合ができるという喜びと楽しさを思い出しました。多くの人たちが様々な面からサポートしてくださいました。

この度、11月13日から15日に行な



1回戦 濑戸高校戦
in 玖珂総合公園人工芝グラウンド

昨年の5月20日に全てが変わりました。コロナウイルスの影響で甲子園大会の中止の報告を受けた日です。幼い頃からの憧れであった甲子園での期間が続き、モチベーションの維持に苦労しました。しかし、何度も選手間でのミーティングを重ね、山口県独自で開催されるメモリアルカップを必ず優勝して笑顔で終わらうと話していました。主将として、チーム全体の士気をもう一度上げて必死に練習をし、優勝することが出来ました。優勝したにもかかわらず、甲子園に行くことができないという現実は本当に残念で悔しいことでした。この経験をきっかけに私は大切な事に気づきました。それは、応援とは、野球場のスタンドからの声援だけではないということです。今まで当たり前のように入場や声を出して応援に制限がかかり、これまでの大会とは異なり、静かな雰囲気の中で試合することになりました。正直、物足りなさも感じていましたが、優勝することによって私たち以外に家族、学校関係者、地域の方々、友人、野球部OBなど多くの方々に声をかけていただく機会がありました。

われた全国大会出場をかけた第52回全国高等学校選抜ホッケー大会中国地区予選に出場してきました。今年は3校の枠を争いました。1回戦目は岡山県の瀬戸高校に10対0で勝利し、2回戦目は優勝候補の鳥取県の八頭高校に2対0で勝利し、全国大会出場を決めました。これからは現在、部活動ができる環境、サポートしてくれる監督、コーチや保護者の方々への感謝を忘れず、全国大会で1回でも多く勝てるように日々の練習に取り組んでいこうと思います。



メモリアルカップ優勝から得たもの

高川学園高等学校
3年 大内 海斗

そこで、優勝したことの反響の大きさに驚き、改めて喜びを感じました。

「自分の幸せは他人の幸せになり、他人の幸せは自分の幸せになる」ということを大会を通じて学びました。

これから大人になり、社会に出たときにも目標を達成して周りの人を喜ばせ、幸せを与えられる大人になりたいと思います。

最後に、メモリアルカップ開催にあたりご尽力いたいた県高野連関係者の皆様に山口県の高校球児を代表して心より感謝申し上げます。



2020メモリアルカップ大会優勝後に

in 萩スタジアム

郷土を愛する心を育む ～わたしたちが残したいふるさとの伝統～



萩市立佐々並小学校

校長 舟木 美弘

「残そうまちの自慢」

本校の概要

萩市佐々並は、江戸時代に山陰の萩と瀬戸内の三田

尻を結ぶ「秋往還」の宿場町として栄えたところです。

現在も江戸後期や明治、大正、昭和の建物が随所で保存され、「国選定重要伝統的建造物群保存地区」として多くの観光客が訪れています。佐々並小学校は明治6年に創立され、明治時代は7つの分校もありました。

現在も「地域の学校」として、地域の方々がたくさん学校支援のために来校され、「地域の特色」が児童に体験を通して伝えられて「郷土愛」が育まれています。

佐々並ふるさと学習

これまででも社会科や総合的な学習の時間で進めてきましたが、今年度は現地調査や体験学習を中心に進めています。地域の方（秋往還などしんてやろう会）がガイドとして、「秋往還」や「歴史的建造物」を見学にわかりやすく案内していただきた現地調査。また佐々並名物の「ささなみ豆腐」

を調べた時に、「自分たちで作ってみたい」という児童の強い要望があり、かつての創業者が快く引き受けた。だから「ささなみ豆腐」作りに挑戦することができた体験学習。

体验した児童の「地域のいいところは残していくないといけない。これかららばくたちが残していく



「ささなみ豆腐」作り

学校キャラ「ささラブ」が誕生

「たい」といううれしい感想が聞かれました。

「学校や佐々並のことをもっと知つてほしい」とい

う児童の発案で、佐々並の自慢や特色を表現した学校キャラ（ゆるキャラ）が誕生しました。まず缶バッヂを作製して、地域の方も身につけ、一体感が生まれて

います。さらに萩市広報（市報）11月号の表紙で全校児童の笑顔と共に「ささラブ」が紹介され、地域の大きな話題になりました。また色とりどりの「さ

さラブTシャツ」を着た児童が地域の行事に参加して活動を華やかにしています。地域の方から学校だけでなく「地域のゆるキャラ」になつてほしいという要望があり、みんなから愛される「佐々並キャラ」になりました。

地域連携教育の充実

佐々並公民館や社会福祉協議会はもちろん、地域のボランティア団体の学校支援を受けて「佐々並ふるさと学習」と「農業体験（稲作・芋作り）、歴史・町探検、生活体験（迎春準備・餅つき）、お年寄りとの交流（昔遊び）、地域の芸能（旭



7色の「ささラブ」缶バッヂ



修学旅行 in 見島

与え与えられの「つながり」

地域の方からの支援を受けた後、学校から「これか

らも…」と伝える前に「今日は楽しかった。次もお願

いしますね」という言葉が返ってきます。「子どもが一緒にだと参加者が増える」「活動が明るく楽しくなる

などの感想も多く、どの団体もそれぞれ定例の活動の中、「児童がその一部と一緒に参加する」というスタイルは活動を継続させる秘訣となっています。学校

はそれらの要望に応じて、参加学年や児童数を調整しながら、お互い無理なくそして楽しく「与え与えられ

ながら、つながっていくように努力しています。学校

は「佐々並ふるさと学習」の様子を学校ホームページの特設コーナーで、写真とともにリアルタイムに情報発信しています。児童や地域の方の笑顔がとても評判となり閲覧者も増え、学校にうれしい感想が届きます。

また、テレビや新聞で報道されることも多く、「佐々並のすばらしさ」を広く知つてもらうことができ、その喜びが「やりがい」にもつながっています。そして児童のすてきな思い出の一ページにもなっています。

「つながり」とやりがいを学校や地域など全ての方向で共有しながら、「ふるさと佐々並」を心から愛し大切に育てていきたいと思います。すべては子どもたちのために。



玖西支部の取組

『傳承』—2020記念誌—の発刊



周東文化協会
会長 中部 康典

昭和30年に4か町村が合併した周東町には、文化的遺産、歴史的財産等の「お宝」が数多く点在しています。その上、町民手づくりの「生涯学習まつり」は30年を越えて続き、各地の「公民館教室」も大変盛んで、文化の継承・発展は脈々と続き、今も貴重な「お宝」が生まれています。正に文化と歴史の輝くまちといえるでしょう。それらの今でしか見えない・掌握できない「お宝」を発見し、記録に残すことは、周東文化協会（現会員420名余、県教育会会員多数）に課せられた使命の一つであると思料しています。

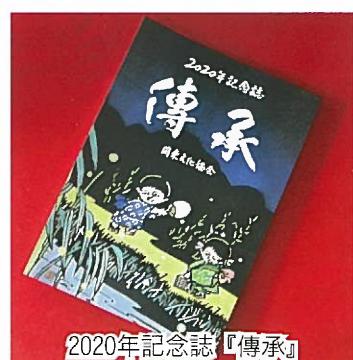
そこで、平成30年度から、「お宝」文集作成のために28名の協会役員、更に退任役員5名にもお力添えをお願いして、担当地区を割り振り、地域に密着した細やかな配意のもとに検討会を重ねました。そして、令和元年12月の広報誌で、協会会員や町民各位に「令和に花咲く記念誌の作成に取り組みます。“貴方の想いや感性、箪笥に眠っているものなどを子や孫に、未来に伝えていただけませんか”」

とご寄稿の募集をしました。反応が薄い地区には、検討会の情報交換をもとに寄稿依頼もしました。

すると、コロナ騒動にもかかわらず町内外の延べ120余名に及ぶ方々から、温かく感銘深いエッセーや自分史、詩歌、貴重な史実、話題提供等を寄せさせていただきました。

タイトルを『傳承』。サブタイトルを『2020年記念誌』として、①『綴る』個人の自由内容作品②『語る』地域の故老や知識人の思い出話等 ③『詠む』 ④『前会長・三坂仁様を偲ぶ』の4部構成とする内容豊かな後世に残る記念誌を刊行することができました。

12月1日に完成し、寄稿者、『語る』参加者、協会会員、幼稚園・学校、図書館や公民館等の公共機関や団体等々に贈呈いたしました。この『傳承』に咲いた花々が、巷で話題として取り上げられ、町内外に波紋として広がり、新たな交流に役立つとのロマンを描いています。更に、こうしたハイブリット化によって更に大きな花を咲かせる夢の実現を熱望しているところです。



2020年記念誌『傳承』

地域活性化活動助成事業

地域とともに歩む学校を目指して



下関市立山の田小学校
校長 竹中 謙二

本校は、下関市の中西部に位置し、昭和30年代に宅地造成等がなされ急速に発展し、マンションが数多く建設されるなど都市型の環境にあるが、地域の方々の本校に対する愛情は深く、様々な面で支援をいただいている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応から例年のように地域の方と交流する機会がとれていなかった。毎年2回行っている「山の田小を愛する会」を中心とした校内整備作業も、1回目は中止となってしまった。しかし、状況を見つつ2回目を10月下旬に実施することができた。これまでには、

地域の方に多く参加していただきことを念頭に土・日に実施したが、今回は平日に実施することで、児童と一緒に



校内整備作業

一緒に活動できるようにした。地域の方にとっては、自分たちの活動を知ってもらうことで励みになり、児童にとっては自分たちのために地域の方が働いてくれていることを知る機会となった。

今回は、6年生が参加したが、学年全員が参加すると道具の数が足りなかったので、地域活性化活動助成金を使って不足している道具をそろえたいと考えている。また、整備作業で見違えるようにきれいになった花壇の肥料購入にも使わせていただきたい。

校内整備作業とともに、今年度のうちに再開したい活動が、昼休みに体育館を開放して地域の方と昔遊びを楽しむ「ふれあい活動」である。こま、けん玉、お手玉…名人にコツを教わりながら自然な交流が生まれ、児童も地域の方も笑顔に包まれる。1年前の当たり前の風景も、今となっては贅沢な有り難い場面であったのだと感じられる。マスクを常に着用し、さまざまな制限を受ける児童を見るにつけ、一刻も早く、安全に思いつきり周りの人と交流できる状況になることを願うばかりである。



ふれあい活動(昔の遊び)

教職員相談室のご案内



あなたの悩み軽く してみませんか

教職員相談室相談員

大本 学 司（一般相談担当）
溝 部 幸 絵（結婚相談担当）

場 所：山口市大手町2-18
山口県教育会館2階
T E L：(083) 933-4776
925-6450
時 間：平日の8:30～17:15
※いずれも直接相談員が電話にて
できます。
※顧問の弁護士に相談することも
できます。

1 コロナ禍の中での日々の取組に拍手

教職員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。この原稿は、令和3年1月号への寄稿ということで、11月の中旬に書いています。昨年度末からの全国一斉休業に始まり、年度当初の休業、緊急事態宣言の発令により、学校現場の教職員の皆様には、「子どもたちの命を守る」とこと、保護者からの「安心・安全」への信頼を得るという日々の取組で、心も身体もお疲れのことと思いません。

先生方が創意工夫を凝らして教育活動を展開されておりおかげで、児童生徒が目を輝かせながら嬉々として学校生活を過ごしている事でしょう。遊びに向かう意欲と知的好奇心をもつて達成感を得た児童生徒の姿を見るときに、教師としての喜びをかみしみておられます。しかしながら、ようやく学校生活も「学び」を取り戻してきた中で、この原稿を書いている今現在において、新型コロナ感染者の「第3波」が押し寄せ、年明け1月ごろには大変な事になってしまっているのではなかいかといふ危機感も抱いているところです。（そうなりませんようにと祈っているのですが…）

2 教職員の元気が子どもたちの元気に

私の机上の『ありがとうございます、先生』という言葉があります。私のこれまでの経験上、教師

3 教職員相談室ってどんなところ？

この教職員相談室というのは、山口県教職員健康管理制度センター内（県教育会館2階）にあって、公立学校共済組合山口支部の組合員及び一般財団法人山口県教職員互助会の会員（現職・退職）の悩み相談、具体的には、健康・職場（管理職や同僚との人間関係・経済・年金・住居・交通事故、子ども、結婚など様々な悩み）をお聞きしながら、相談者と一緒に解決に向かうとうことをしています。

相談員には、教職員相談員（2名）と教職員保健相談員（保健師4名）がいて、電話での相談や面談で相談者の悩み等をお聞きしています。ここでは、教職員相談員についてお知らせします。

4 カップリング・パーティーで出会いの場を

相談事業のひとつに結婚相談があります。教師という仕事の関係上、余暇の時間の中で異性と出会うチャンスが少ないという声を聞きます。ぜひ、互助会が年2回（8月・12月）主催するカップリング・パーティーにも積極的に参加していただき出会いの場を広げてください。とりわけ、男性の先生方の積極的な参加と本会への結婚登録を期待しています。パーティーへの参加募集は、互助会ホームページと県内全ての学校現場に文書でご案内しておりますのでその時期がきましたら、ぜひチエックしてみてください。

【教職員の元気が子どもたちの元気】につながります。



令和元年度カップリング・パーティー（拡大）
(※新型コロナウイルス感染症の感染予防といたしました。
大防止のため、令和2年度は開催を見送りました)

会いの場を設定したり、カップリング・パーティーのお世話をしたりして縁を結ぶお手伝いをしています。

一般相談は、同僚や管理職との人間関係についての悩みや、学級経営・授業・保護者との悩み等について、よりよい解決方法について相談に乗ります。初回の法律相談料は互助会が負担します。相談者の個人情報については、守秘義務があり、他者への漏洩は絶対にあります。また、必要に応じて互助会の顧問弁護士を紹介し、よりよい解決方法について相談に乗ります。初回の法律